



京都市緑のボランティアセンターでは、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、緑に関する情報や取組みを御紹介します。

公園愛護協力会のご紹介

京都市が管理している公園では、近隣にお住まいの方々等で結成されているボランティア団体（公園愛護協力会）によって、公園の清掃や除草を中心とした公園の美化活動を展開していただいています。今回は、伏見区の深草西浦南公園愛護協力会の活動をご紹介します。

深草西浦南公園



深草西浦南公園は、昭和41年に設置された総面積約1.5haの近隣公園です。防災機能も備えており、公園内には防災倉庫とかまどベンチを設置しています。

広い敷地にはサクラ、ハナミズキ、トウカエデなど約100本の樹木が木陰を作ります。また、公園を囲むように植えられているクちなシは、初夏になると甘い香りを運び人々を楽しませます。

四季折々の花が咲き、街中にありながら自然に親しむことができる環境で、散策路として利用する方も多く、市民に親しまれている公園です。



「続ける」ことで保たれる美しさ

深草西浦南公園は、公園が長大であり、道路で分断されていることから、3つの愛護協力会が結成され、それぞれが活動されています。そのうちの一つの愛護協力会では、北仲重郎会長が結成当初から会長を務められています。活動日はあえて決めず、「できる時にできることを行う」といった自主的な活動を長年続けられており、主に草刈りや落ち葉清掃等を行われています。朝のごみ拾いについては、毎日行われているそうです。



今日も活動を続ける北仲重郎会長

北仲会長は「夏の草刈りと落葉時期の落ち葉清掃が忙しいですが、アスファルトの歩道よりも公園の方が歩きやすいと言ってもらった時や、集めた落ち葉で子どもたちが遊ぶ姿を見るとうれしいです」と笑顔で話してくれました。

公園を活用して健康増進！



同公園では、平成 28 年から毎週月・水・金曜日の 7 時 30 分よりラジオ体操が行われています。実施した回数は 800 回を超え、延べ 26,000 人以上が参加されています。自由参加で気軽に運動できるスタイルが長く続けられている秘訣でしょう。

また、初の試みとして令和 4 年 6 月に「公園ラジオ体操で、一句」と題して俳句が募集されました。あっという間に 30 首ほどの俳句が集まり大好評のイベントとなったそうです。北仲会長は「みなさん知識はあるが披露する場所がなかっただけ。ラジオ体操で体の健康を、俳句で頭の体操をして健康長寿に繋がれば。季節ごとに開催していきたい」と話してくれました。

地域を巻き込む公園づくり

愛護協力会では、公園内の樹木の名前が分かるよう工夫を行うなど、公園を利用する人が楽しめる取り組みをされています。こうした取り組みには、地域の高校や小学校などから協力が得られているそうです。

北仲会長は「公園はいろいろな人が関った方が良いです。昔はごみなどが多かったのですが、きれいな状態を維持するとごみを捨てられることも減りました。公園は手入れすることで必ず良くなります」と語ってくれました。

活動で大変なことを尋ねると、「私は田舎の子だったので外で体を動かすことが体に一番良いと思っています。しいて言うなら蚊が多いのが大変ですね」と笑う姿に美しい公園の秘密を見ることができました。北仲会長は、「今後は公園の自然を利用して近隣の方にもっと楽しんでいただけるイベントなどを考えていきたい」と力強く抱負を語ってくれました。



公園愛護協力会の結成や活動に関して

対象となる公園を所管するみどり管理事務所までお気軽にお問合せください。

- 京都市北部みどり管理事務所（TEL：075-882-7019 FAX：075-882-7300）
北区、上京区、左京区、中京区、右京区、西京区
- 京都市南部みどり管理事務所（TEL：075-643-5405 FAX：075-643-0075）
東山区、山科区、下京区、南区、伏見区

公園を維持管理しているみどり管理事務所は、令和 5 年度に土木事務所との統合を予定しています。